

別記様式第1号（第2条関係）

〔記入注意〕

- 1 不用の文字は消し、数字は算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中に✓印を付けてください。
2 「旧姓」の欄又は「通称」の欄は、免許証に旧姓又は通称（住民票に記載されている通称に限る。）を併記することを希望する場合に限り、記載してください。

二 級 木 造 建 築 士 免 許 申 請 書									
私は、二級 建築士の免許を受けたいので、関係書類を添えて申請します。 木造									
私は、次の事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。 年 月 日									
氏名 (自署) 広島県知事 様									
ふ り が な 氏 名					生年 月 日		年 月 日生		
本 籍 地 の 都 道 府 県 名				性 別		男□ 女□		写 真 1 縦 4.5cm、横 3.5cm の写真 の裏面に氏名及び撮影年月 日を記入してのりで貼り付 けてください。 2 貼付した写真は免許証に 転写されます。	
現 住 所		〒							
		電 話							
ふ り が な 旧 姓		ふ り が な 通 称							
メー ル ア ド レ ス									
試 験		二級 建築士試験に合格した年 年 木造							
		合 格 通 知 書 日 付		年 月 日		合 格 番 号		号	
登録申請区分		1 学歴□ 2 学歴＋実務□ 3 実務□ 4 建築士法第4条第5項□							
1 合 の み 記 入 学 歴 に よ り 申 請 す る 場 合		学 校 名		学 部 名 ・ 学 科 名		入 学 ・ 卒 業 (修 了) 年 月			
						年 月 入 学 年 月 卒 業 (修 了)			
						年 月 入 学 年 月 卒 業 (修 了)			
2 す る 場 合 の み 記 入 学 歴 + 実 務 に よ り 申 請		学 校 名		学 部 名 ・ 学 科 名		入 学 ・ 卒 業 (修 了) 年 月		建築実務経験期間の 合計	
						年 月 入 学 年 月 卒 業 (修 了)		年 月	
						年 月 入 学 年 月 卒 業 (修 了)			
3 す る 場 合 の み 記 入 実 務 に よ り 申 請		建築実務経験期間の 合計							
		年 月							
4 第 5 項 に よ り 申 請 す る 場 合 の み 記 入		免 許 の 名 称		免 許 者 名		免 許 の 年 月 日		資 格 認 定 書 の 年 月 日	
						年 月 日		年 月 日	

欠 格 事 由	1 拘禁刑以上の刑に処せられたこと（刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）による改正前の刑法（明治40年法律第45号）第13条に規定する禁錮以上の刑に処せられたことを含む。）がありますか。 ある☐ ない☐ あるときはその罪及び刑_____ あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 年 月 日				
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 ある☐ ない☐ あるときはその罪及び刑_____ あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 年 月 日				
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 ある☐ ない☐ あるときは、その日 年 月 日				
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間 年 月 日から 年 月 日まで				
	5 精神の機能の障害により 二級建築士 木造建築士 の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。 はい☐ いいえ☐				
※審査		※登録機関記載欄			
※登録番号		※登録年月日	年 月 日	※受付番号	

用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

以下の事項は、円滑な登録実施のために必要となりますので、記入についてご協力ください。

告 示 等 に 基 づ く 学 歴 等 区 分 (登 録 申 請 時)	☐ 5 0 大学・短大・高専卒 40 単位	☐ 5 1 職能大（短大）卒 40 単位	☐ 5 2 大学・短大・高専・ 職能大等卒 30 単位	☐ 5 3 大学・短大・高専・ 職能大等卒 20 単位
	☐ 5 4 高校・中学卒 20 単位	☐ 5 5 高校・中学卒 15 単位	☐ 5 6 専修（高校卒） 2 年以上 40 単位	☐ 5 7 専修（高校卒） 2 年以上 30 単位
	☐ 5 8 専修（高校卒） 1 年以上 20 単位	☐ 5 9 専修・職訓校（中学卒） 2 年以上 15 単位	☐ 6 0 専修・職訓校（中学卒） 1 年以上 10 単位	☐ 6 1 職訓校（高校卒） 3 年以上 30 単位
	☐ 6 2 職訓校（高校卒） 1 年以上 20 単位	☐ 6 3 職訓校（中学卒） 3 年以上 20 単位	☐ 6 4 実務経験	☐ 6 5 その他 （建築設備士等）

様式第 3 号 (はがき大)

										* 事務局使用欄 受付番号			
見 出					二級・木造建築士住所等の届出					届出日		年 月 日	
	ふ り が な							生 年 月 日	大 昭 平	年 月 日		性 別	
氏 名									年 月 日		性 別		
本籍地の 都道府県名													
ふ り が な													
住 所		〒 (電話)											
登録番号		広島県 二級 木造 第 号					登録年月日		年 月 日				
業務の種別		1. 建築設計 (2 及び 3 を除く) 2. 構造設計 3. 設備設計 4. 積算 5. 工事監理又は工事の指導監督 6. 現場管理 7. 技能労務 8. 調査又は鑑定 9. 手続代理 10. 敷地選定等の企画 11. 研究又は教育 12. 行政 13. その他											
勤 務 先	名 称												
	所在地		〒 (電話)										

〔記入注意〕 1. 業務の種別及び勤務先の欄は、建築に関する業務に従事しているときに記入して下さい。

2. 業務種別欄は、該当する数字を○で囲んで下さい。2 種以上の業務に従事しているときは、主に従事しているものを一つ○で囲んで下さい。

3. 建築士事務所に勤務しているときは、その事務所の開設者名を勤務先の名称の欄に併記して下さい。

4. 見出し欄には、氏名の最初の 3 音をカナで記入して下さい。

建築士免許証明書写真票

広島県

ふりがな						
氏 名						
ふりがな 旧 姓	* 免許証明書に併記を希望する場合のみ記入			フリガナ 通称名	* 免許証明書に併記を希望する場合のみ記入 * 外国人登録証明書に記載のもの（ペンネームは不可）	
※登録番号	二 級 広島県 第 号 木 造				写真貼付欄 1 申請前6ヶ月以内に撮影した無帽、正面、上半身、無背景の縦4.5cm横3.5cmの写真で、その裏面に氏名及び撮影年月日を記入したものをのりで貼付して下さい。 2 貼付された写真は免許証に転写されます。	
※登録年月日	昭和 平成 年 月 日 令和					
備 考 特別な字体である場合						

- 注意
- ・写真（縦4.5cm・横3.5cm）は必ず申請書と同じものとして下さい。
 - ・写真は免許証に転写されますので、鮮明な写真として下さい。デジタル写真の場合は、写真専用紙を使用して下さい。
 - ・氏名は楷書で省略せずにはっきり記載して下さい。
 - ・戸籍に記載されている氏名が旧字体等の特別な字体である場合は、希望により一般的な字体（新字体）を免許証に記載することができます。氏名欄に新字体が記載されている場合は、新字体の使用を希望するものとしします。
- なお、特別な字体である場合は、備考の□内に大きくはっきりと記載して下さい。
- ・新規登録の場合は、※欄は記入しないで下さい。

* 広島県建築士会使用欄

発行年月日： 年 月 日 写真番号 34 - - 号

様式第 1 号の 2（第 2 条関係）

実 務 経 歴 書

〔記入注意〕 この実務経歴書は勤務先（自営業を含む。）ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、

二級

木造

建築士免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

年

月

日

広島県知事 様

氏 名

(自

署)

勤務先等					
勤務先（部課名まで）		所在地（番地まで）		在職期間の合計	
				年月～年月	年月数
				年 月～ 年 月	年 月
在職期間		地位職名	建築実務の内容（建築士法施行規則第 1 条の 2）		
年月～年月	年月数				
年 月～ 年 月	年 月				
建築実務の詳細				建築実務経験期間の合計	
				年 月	
1	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
[]					
2	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
[]					
3	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
[]					
※審査					

注意 数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。

4	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
	[]				
5	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
	[]				
6	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
	[]				
7	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
	[]				
8	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
	[]				
※審査					

様式第1号の3（第2条関係）

実務経歴証明書

年 月 日

広島県知事 様

証明者

印

住所・所在地

電話番号

免許申請者との関係

下記の者が申請した 二級 建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。
木造

記

1 免許申請者氏名

2 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 年 月

建築実務の内容：

備 考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

- 注
- 1 不用の文字は、消すこと。
 - 2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。